

V2H-充放電器の停電時操作方法 [プリウス:19年5月~]

- ・車両からの電源供給を停電用（非常時専用）ラインにするため、切替開閉器を「自立側（非常時）」に切り替えてください。（デモ用に模擬停電させる場合のみ、系統電源ブレーカーをオフしてください）
- ・V2H本体の自立起動のため、12V電源ケーブルを用い車両と接続してください。

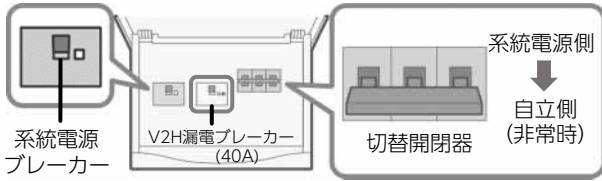
※2019年5月以降に生産されたメーカーオプション「急速充電インレット」付き車両が給電対応車です。
 ※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書をご参照願います。

I. 給電開始の手順

CHECK

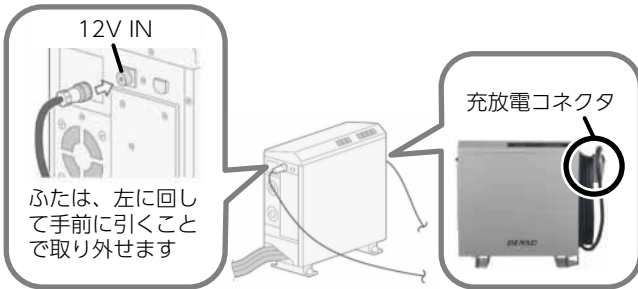
- ・「パーキングブレーキ」がかかっていること
- ・電源OFF状態（メータが消灯している）であること

- 1 切替盤内の切替開閉器を「自立側」に切り替える。



※本体操作パネルに E29/E74/E100/E123 が表示されますが、停電検知コードであり異常ではありません。

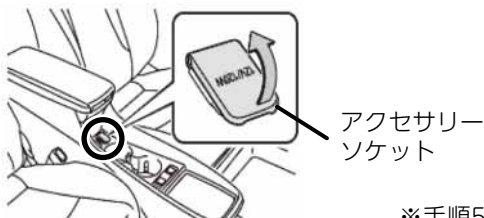
- 2 V2H本体の「12V IN」に「12V電源ケーブル」を接続し、ホルダから「充放電コネクタ」を取り出す。



- 3 車両の充電リッドを押して開け、「充放電コネクタ」を「急速充電インレット」に差し込む。



- 4 「アクセサリースocket」のフタを開き、「12V電源ケーブル」を接続する。



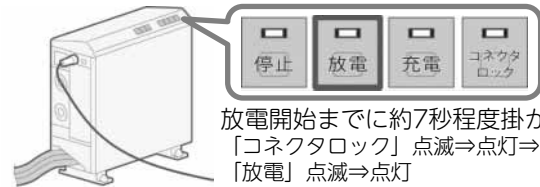
※手順5は右上へ

- 5 「ブレーキを踏まず」に、「パワースイッチ」を、1回押し、アクセサリーモードにする。



アクセサリーモード
 アクセサリーソケットなどの
 電装品が使用できます
 メインディスプレイに「アクセサリー」が表示されます

- 6 V2H本体の「放電ボタン」を押す。



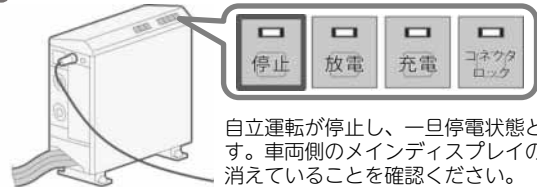
- 7 準備が完了し**給電可能**となる。使用する電気設備の電源を入れてください。

- 8 車両で「ブレーキを踏まず」に「パワースイッチ」を2回押し、アクセサリーモードをOFFにする。

- 9 12V電源ケーブルを車両、V2H本体から外す。

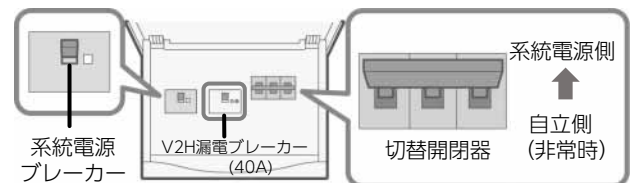
II. 停電終了（復電）時の手順

- 1 V2H本体の「停止ボタン」を押す。



※「復電時放電継続設定」をOFFにしている場合、復電後に運転が自動停止するため、この操作は不要です。

- 2 切替盤内の切替開閉器を「系統電源側」に切り替える。



※デモ停電終了時は系統電源ブレーカーを「ON」にする。

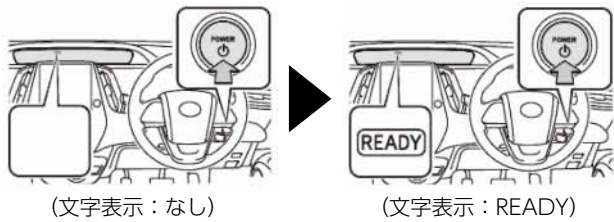
Ⅲ. 給電開始後、車両のバッテリーが尽き運転停止した場合の復旧手順

車両のバッテリー容量が放電下限値※1に達すると、V2Hは運転を停止し停電状態となります。ガソリンエンジンを駆動しアイドル状態状態でバッテリー充電することにより、再度宅内へ給電が可能です。

- 1 リリースボタンを押しながら、「充放電コネクタ」を取り外し、急速充電インレットキャップを閉める。

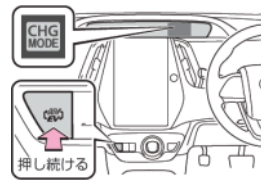


- 2 フットブレーキを踏みながら、「パワースイッチ」を1回押して走行モードONにする。



※手順3は右上へ

- 3 下図のスイッチを押し続け、バッテリー充電モードにする。



バッテリー充電モード表示灯が点滅したら、スイッチから手を離します。バッテリー充電モードへの切りかえが完了すると、表示灯が点灯します。

- 4 駆動用バッテリーの充電量を確認してください。
(バッテリー充電モードの最大充電量は、普通充電での満充電の約80%になります)



- 5 **復旧準備が完了**となる。
「Ⅰ.給電開始の手順」を改めて行い、給電可能となります。

※1.車両に残すバッテリー量は任意に設定可能です。
(車両側の放電下限値を変更することは出来ません)

Ⅳ. 給電開始後、過負荷により停止した場合の復旧手順

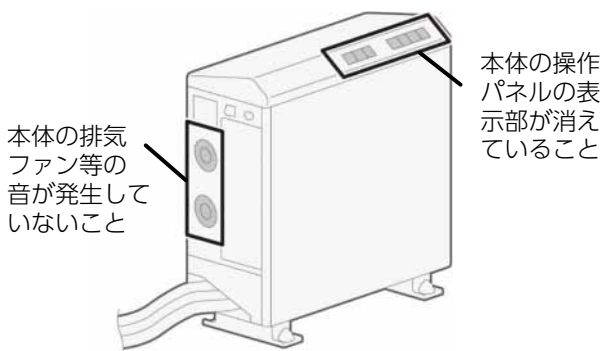
V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満(片相3kVA未満)」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止します。再度給電するためには、下記手順にて復旧準備を実施してください。

- 1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチはOFFにする。

CHECK

V2H本体側

- ・本体の操作パネルの表示部が消えていること
- ・本体から排気ファン等の音が発生していないこと



本体の排気ファン等の音が発生していないこと

本体の操作パネルの表示部が消えていること

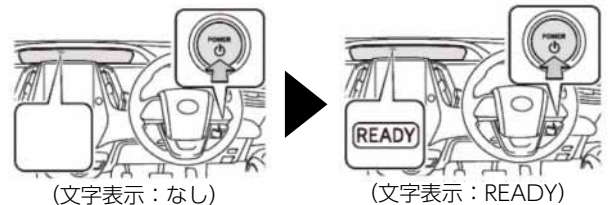
- 2 急速充電インレットの「充放電コネクタ」を取り外し、急速充電インレットキャップを閉める。

CHECK

車両側

- ・「パーキングブレーキ」が確実にかかっていること

- 3 フットブレーキを踏みながら、「パワースイッチ」を1回押して走行モードONにする。

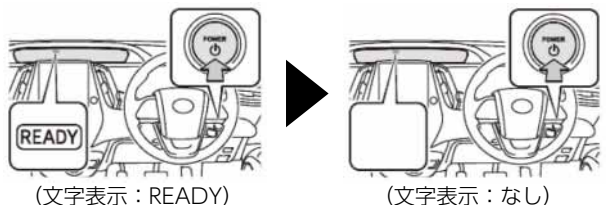


CHECK

車両側

- ・電源「ON」の状態を確認 (READYランプ点灯を確認)

- 4 フットブレーキを踏みながら、「パワースイッチ」を1回押して走行モードOFFにする。



CHECK

車両側

- ・電源「OFF」の状態を確認 (READYランプ消灯を確認)

- 5 **復旧準備が完了**となる。
「Ⅰ.給電開始の手順」を改めて行い、給電可能となります。

※手順3は右上へ